

第18回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催：一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

最初に九州地方で未だにつづく震災の被害に遭われているすべての皆さまに対して哀悼の意を表しますとともに、お見舞いを申し上げます。

昨今、ヘイトスピーチに代表されるように民族差別が露骨になっています。その要因の一つに在日コリアンの歴史が正しく理解されていないことがあげられます。今年で18回目を迎える当セミナーでは、改めて在日コリアンの歴史と現状を深く掘り下げて行きたいと考えています。民族差別を解消し、真の共生社会をめざすため、ともに学び、考えていきましょう。

－ 開 催 要 項 －

【日 程】

春 期 2016年 7月14日(木) 15日(金)

秋 期 2016年 11月11日(金)

冬 期 2017年 3月3日(金)

【会 場】(春期) 貸会議室内海4階教室

(秋期・冬期) 貸会議室内海2階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル2階
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定 員】 80人

【参 加 費】 ・受講料 28,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 7,000円(フィールドワーク)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

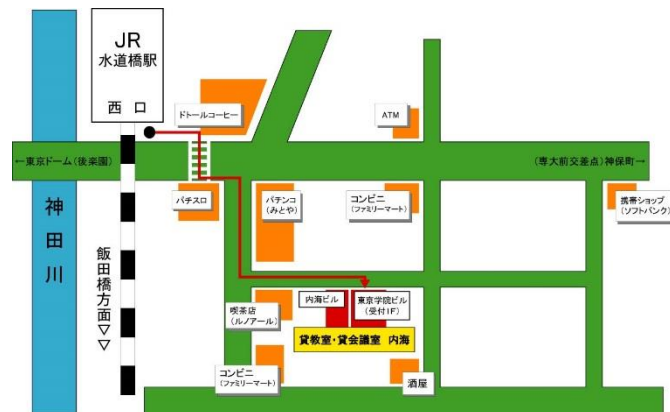
*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

7月8日(金)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒に渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱東京UFJ銀行	生野支店	普通預金	3936599
名 義	一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター		
理 事 長	仲尾宏		



【春期講座】

一日目（7/14）

講 義① 東京裁判（極東国際軍事裁判）での朝鮮問題

講 師 仲尾 宏さん（当センター理事長、京都造形芸術大学客員教授）

日本の敗戦で解消されるはずであった民族差別がいまなお解消されずにいる大きな要因として東京裁判があります。仲尾先生には東京裁判から戦後日本とGHQの朝鮮人にたいする対応を明らかにし、民族差別の根源を探っていただきます。

講 義② 在日コリアン女性に対する複合差別 ー民族差別と女性差別の複合ー

講 師 ^{もと}元 百合子さん（大阪経済法科大学客員教授）

在日コリアンの人権問題を考える上で、これまで女性の問題にはあまり注目されてきませんでした。最近さまざまな実態調査や研究が行われるようになってきました。その成果や差別事例などから「複合差別」の現状と課題について第一人者の元先生に明らかにしていただきます。

講 義③ 在日コリアンの戦後史ー『永続在日論』から

講 師 ^{そ うおん ちよる}徐 元 喆さん（元在日本大韓民国民団中央本部組織局長）

白井聡さんの『永続敗戦論』が昨今注目されましたが、それを在日にあてはめ「永続在日論」を提唱されている徐さん。『日本社会が「在日」を権利ある住民として認めていないから、在日は永続的に在日が続いている。』この意味について、在日の側から在日の戦後史を明らかにしていただきます。

二日目（7/15）

講 義④ フィールドワーク「埼玉の中の朝鮮」 ～渡来から未来へ～

案 内 小川 満さん（川越唐人揃いパレード実行委員会）

江藤 善章さん（川越唐人揃いパレード実行委員会）

①川越まつり会館と蔵造り通り

1655年第6回朝鮮通信使が来たとき、川越の大商人であった榎本弥左衛門が江戸まで見物にいきその様子を日記に書き残しました。後に町人たちがそれを参考に「唐人揃い」祭りを行います。現在、市民の手で「川越唐人揃い」として復活し、毎年11月にパレードが行われています。

②高麗神社

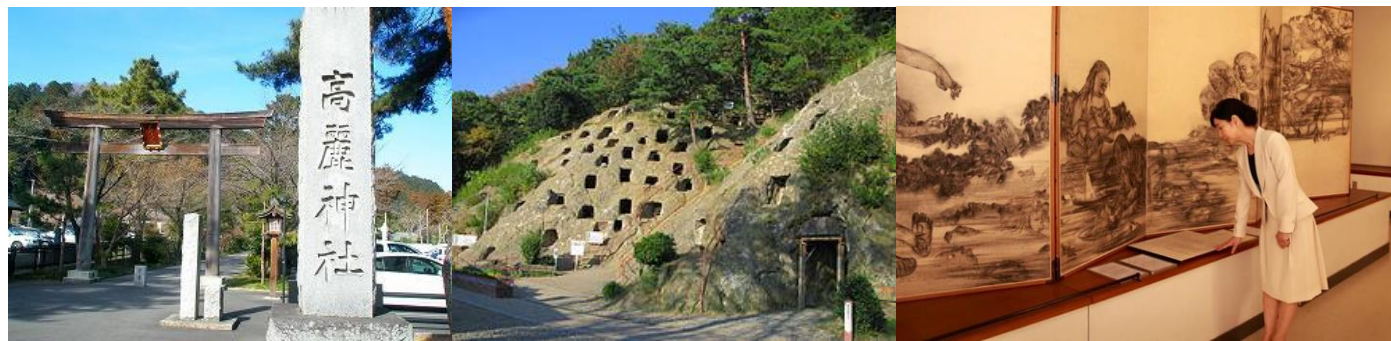
祭神の「高麗王若光」は高句麗からの渡来人で、716年に武蔵国・高麗郡を開拓しました。それから今年で1300年です。ここでは60代目宮司の高麗文康さんのお話を聞かせていただきます。

③吉見百穴地下軍需工場跡

古墳時代後期の横穴墓群の遺跡ですが、太平洋戦争中に中島飛行機の地下軍需工場が建設され、その工事に3000人から3500人の朝鮮人労働者が動員されました。

④原爆の図 丸木美術館

画家の丸木位里・丸木俊夫妻が、共同制作《原爆の図》を、誰でもいつでもここにさえ来れば見ることができるようにという思いを込めて建てた美術館です。丸木夫妻は、広島に投下された原子爆弾の様子をいち早く目撃し、代表作となる《原爆の図》をはじめ、戦争や公害など、人間が人間を傷つけ破壊することの愚かさを生涯かけて描き続けました。（丸木美術館 HP より抜粋）



高麗神社

吉見百穴

丸木美術館

*フィールドワークについて

- ①集合はJR川越駅の改札口に8時50分です。
- ②昼食は「高麗神社」の近くの食堂で、「高麗鍋」などいただく予定です。1000円くらいです。
- ③少し歩きますので軽装でお越し下さい。
- ④フィールドワーク終了後、希望者で東松山名物の「やきとり」を食べながら懇親会を行います。
東松山の「やきとり」は、在日コリアンの店主が戦後、唐辛子入りの味噌だれと焼いた豚のかしら肉を合わせて作り出しました。参加希望の方はお申込ください。会費は4000円くらいです。

【秋期講座】（11/11）

講義⑤ 愛するとき奇跡はつくられる

ー民族差別をなくす「平和」をつくるー

講師 ^{そん} ^ぶ ^{じゃ} 宋 富子さん（文化センターアリラン副代表）

1941年奈良県に在日2世として生まれた宋さんは、小学生の時に陰湿ないじめにあい、何回も自殺を繰り返しました。31才の時に日本と韓国の史実を知り民族と人間に目覚めます。そんな宋さんの生い立ちや現在の在日、日本、朝鮮半島への思いをうかがいます。

講義⑥ 東日本大震災より5年『異郷被災』

ー東北で暮らすコリアンにとっての3.11ー

講師 ^{かく} ^き ^{かん} 郭 基煥さん（東北学院大学経済学部准教授）

東日本大震災から5年、日々、風化しつつある中で、郭先生を中心としたプロジェクトチームが44人の在日コリアンの聞き取り調査を行いました。郭先生は「非常事態における共生の実践が今も行われている」と話されています。郭先生の実践や研究から『「共生」とは何か』について学びます。

講義⑦ 兵庫県における民族差別との闘い

そしてハンセン病元患者家族として

講師 ^{ふあん} ^{ぐあん} ^{なむ} 黄 光 男さん（兵庫在日外国人人人権協会、ハンセン病元患者家族原告団）

戦後、日本で初めて公務員となった黄さん。同じく兵庫県で民族差別撤廃運動に取り組まれ現在は、ハンセン病者の家族として裁判で闘われています。黄さんのさまざまな実践や考えをうかがいます。

講 義⑧ ドキュメンタリーの
上映とトーク

〔ドキュメンタリー映画上映〕(106 分)

『60 万回のトライ』(2013 年)

〔トーク〕(60 分)

ぱく とん さ ぱく さ ゆ
朴 敦 史さん & 朴 思 柔さん

(コマプレス)



『2010 年 4 月。高校ラグビー春の選抜大会決勝。大阪朝鮮高級学校は、最強の王者・東福岡高校を雨の中で追いつめていた。同点で迎えたロスタイム、あと一步で敗れてしまう。だが部員たちは、そこから再び“全国制覇”の夢へと向かい始める。猛練習を積み重ねる日々を送るが、高校授業料無償化からの排除、地方自治体の補助金停止などの現実にも直面する……。』朝鮮高校ラグビー部を通じてありのままの朝鮮学校生の姿を映し出した映画『60 万回のトライ』の上映と監督のトークを行います。ラグビー好きには必見です。気さくなお二人のトークから朝鮮学校や在日コリアンがかかえるさまざまな問題を明らかにしていきます。

【スケジュール】

7 / 1 4 (木)	7 / 1 5 (金)	1 1 / 1 1 (金)	3 / 3 (金)
9:30 受付開始	8:50 J R 川越駅改札口集合	9:30 受付開始	13:30 受付開始
9:55 開 会	9:00 バス乗車・出発	9:55 開 会	14:00 講義⑧
10:00 講義①	9:10 川越まつり会館	10:00 講義⑤	17:00 終 了
11:50 昼 食	10:45 高麗神社	11:50 昼 食	
13:00 講義②	12:00 昼 食	13:00 講義⑥	
14:50 休 憩	13:30 丸木美術館	14:50 休 憩	
15:00 講義③	15:00 吉見百穴	15:00 講義⑦	
16:50 閉 会	16:30 東松山駅 *懇親会参加者は下車	16:50 閉 会	
17:00 終 了	17:00 川越駅解散	17:00 終 了	

*フィールドワークの行程は変更する場合がございますのでご了承ください。

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
担 当 高敬一 (コ・キョンイル) まで
〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : <http://kmjweb.com>

第18回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

（FAX 06-6717-2702）

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、仲尾さんの講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

①東京裁判（極東国際軍事裁判）での朝鮮問題	仲尾宏さん
②在日コリアン女性に対する複合差別	元百合子さん
③在日コリアンの戦後史	徐元喆さん
④フィールドワーク	
⑤愛するとき奇跡はつくられる	宋富子さん
⑥東日本大震災より5年『異郷被災』	郭基煥さん
⑦兵庫県における民族差別との闘い	黄光男さん
⑧ドキュメンタリーの上映とトーク	

フリガナ			
受講者		勤務先名 担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）

*7月15日（金）フィールドワーク終了後の「やきとり」懇親会

☐ 参加（ 人）

事務確認欄（事務確認欄は記入しないでください）

受付No	受付日	入金日	担当者	備考